

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小川晃
全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4302 創造の家管理事業										
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費									
	事業	010000 創造の家管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
勤労青少年の豊かで活力ある余暇活動の拠点として学習の場、交流の場として快適な環境で利用できるよう、施設の充実と活性化を図る。若年者が職業人、社会人として自立、成育するよう支援に努める。						須坂市体育協会を指定管理者として、事業実施、施設管理を委託する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
施設の整備や植木の手入れ等	施設の整備や植木の手入れ等
平成24年度 実績	平成25年度 実績
施設の整備や植木の手入れ等	施設の整備や植木の手入れ等
平成26年度 実績	平成27年度 予定
施設の整備や植木の手入れ等	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。

指標名 勤労青少年ホーム創造の家施設利用者 総数						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	4,000	4,000	4,000	8,000	8,000
	実績	3,360	5,500	3,747	6,402	
指標選定の理由	勤労青少年以外の利用が比較的少ない昼間に民間団体等への貸館を行ない、施設の有効利用を図りながら市民の憩いの場として有効活用されるよう取り組むことから、施設利用者の総数を指標とした。					
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		4,377	11,754
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	114	0
一般財源		4,263	11,754
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	嘱託職員	0.9	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	685.8
	嘱託職員	2,452.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,452.5	685.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		6,829.5	12,439.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,549	消耗品148、燃料費362、食糧費8、光熱水費899、修繕費164
13節 委託費	2,089	警備保障委託料273、その他委託料(病虫害・松剪定)565、シルバー人材センター委託料1,252
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7	長野県勤労青少年ホーム連絡協議会負担金7
その他	732	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	964	施設修繕等964
13節 委託費	10,790	指定管理委託料10,790
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	施設、建物の維持管理、必要な修繕を行った。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	施設利用に支障のないよう、施設等の維持管理を適切に行った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	平成27年度より指定管理者による運営へ移行することを決定し準備を進めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

次年度からの指定管理者による運営への移行をスムーズに行ない、利用者のニーズに対応した管理運営に努める。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
指定管理者により適切な施設管理がされるよう、連絡を密にして取り組む必要がある。		施設の役割を果たしつつ利用者の拡大や新たな事業展開を指定管理者に期待する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	